

産業標準案作成対象テーマの審議について

日本産業規格（JIS）の制定、改正又は廃止のための産業標準案（以下、JIS 案という。）の作成に着手するに当たっては、当会認定産業標準作成機関 JIS 案作成規程に基づき、当該 JIS 案作成対象テーマが適切であることについて、主務大臣による事前調査、及び JSA 事務局による“JIS 案の作成開始要件”を満たすことの事前確認を経て、産業標準作成委員会にお諮りすることとなっております。

つきましては、別添の JIS 案作成対象テーマについて、理由（必要性）及び期待効果、JIS 案の作成開始要件への適合状況、作成開始予定などを記載しておりますので、JIS 案の作成に着手してよろしいかご審議をお願いいたします。また、産業標準作成委員会の下に JIS 素案の調査審議及び作成を行うための WG を設置することについても併せてご審議をお願いいたします。

なお、字句等編集上の修正については、産業標準作成委員会事務局に一任いただきますようお願いいたします。また、ご承認いただいた JIS 案作成対象テーマは、利害関係者に公表するために JIS 作成予定一覧表として JSA ウェブサイト掲載いたします。

産業標準案作成対象テーマ一覧(改正)

認定機関	産業標準作成委員会	制定/改正/廃止	規格番号	JIS案の名称	JIS案の英文名称	改正する理由(必要性)	期待効果	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	対応する国際規格との対応の程度	選定基準1 (JIS法第2条の産業標準化の対象)	選定基準2 (JIS法第1条の法律の目的)	選定基準3 (産業標準化の利点・欠点)	選定基準4 (国が主体的に取り組む分野の判断基準)	選定基準5 (市場適合性に関する判断基準)	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始予定
JSA	02 計測計量	改正	B7554	電磁流量計	Electromagnetic flowmeters	<p>【必要性】 この規格は、工業用電磁流量計の原理、構成及び機能、性能、性能試験方法及び使用方法について規定したものであり、ISO6817:1992及びISO 9104:1991を対応国際規格として1997年に改正された。その後、電磁流量計の基本技術に大きな更新はないものの、周辺技術においては各種の進歩があり、特に、測定誤差及び流量特性に関して、現在の電磁流量計に求められるニーズに合わなくなっている。</p> <p>また、2017年には、ISO6817とISO9104を廃止・統合しISO 20456(導電性液体の電磁流量計の使用指針)が制定されたことから、国際市場の要求に適合させるため、当該国際規格との整合を図ることも求められていることから、この規格を改正する必要がある。</p> <p>【期待効果】 この改正によって、国際規格との整合が図られるとともに、最近の技術実態が反映されることから、製品の開発・製造が容易になり、かつ、取引の円滑化も期待される。</p>	規格を改正することによって、製品の開発・製造が容易になり、かつ、取引の円滑化も期待される。また、利用者にとっての製品の信頼性向上につながる。	<p>主な改正点は、次のとおり。</p> <p>1.接液部(ライニング)の材料を現在実際に使用しているされている材質に変更する。これに加えて、温度などに対する耐性の規定を追加する。</p> <p>2.一般的な校正が主流となったために、流量計設置における厳格な配管レイアウト条件を廃止する。</p> <p>3.流量計の校正、妥当性確認及び検証に関する規定を追加すとともに、一般的な校正設備における校正方法を定義する。</p>	—	ISO 20456:2017, Measurement of fluid flow in closed conduits — Guidance for the use of electromagnetic flowmeters for conductive liquids	MOD	第2条の該当号: 1(構造、性能) 対象事項: 電磁流量計	法律の目的に適合している。	<p>利点: ア、エ、オ、キ</p> <p>欠点: いずれも該当しない。</p>	—	国際規格をJIS化するもの	一般社団法人日本電気計測器工業会のWG	2023年1月